



く せ ん 薫 泉

学校の目標

社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指す。次のような子どもを育成する。

・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

未知の課題はAIとの付き合い方

校長 井上 光広

今年もあとわずかとなりました。皆さんにとって、この一年間はどのような年だったでしょうか。本校の授業では学習の「ふりかえり」を重視し、それを次の学習や行動につなげていくというスタイルで指導しています。ぜひ、ご家庭での一年間のふりかえりをしていただき、令和七年の好スタートにつなげていただくことをお願いいたします。さて、私は教員の研究組織である「大田区教育研究会」で、情報教育研究部長という立場で各校の教員の授業研究を支援しております。この情報教育研究部会で今年度大きな話題となったのが、「生成AI」をどう活用したらよいのかということでした。この生成AIについては、大田区教育委員会が発行している教員向け「情報モラル通信」でも話題に取り上げられ、『「おおた教育ビジョン」にも示されている「新たな価値の創造」を、教育を通して実現するためには、生成AIの活用は、避けて通れないというより、避けてはいけないことなのかもしれません。』と投げかけられています。つまり、大人が「知らない」「分からない」「使えない」「やりたくない」と避けていると、こどもの方が先に進んでしまつて、大人は状況の判断や適

切な指導ができなくなる危険がある。私もそう感じています。皆様の中には、すでに仕事に効果的活用をされている方もいらっしゃることでしよう。以下の丸ゴシックの文は、私が生成AIに簡単なプロンプト（指示や質問）を投げかけて生成させた新年の挨拶文になります。

「薫泉」という名の通り、矢口小学校はこどもたちの心を育み、未来へつなぐ泉のような場所でありたいと考えています。令和七年も、こどもたちが自ら考え、行動し、そして共に成長していくことができるよう、様々な取組を進めてまいります。保護者の皆様と共に、こどもたちの成長を温かく見守り、共に歩んでいければ幸いです。

このようなありふれた文になってしまいます。



上のイラストは、ために生成AIに作らせた、ニューバージンの「やぐらん」です。ここからさらに工夫を加えたプロンプトを入れていくことで、作り上げるものをレベルアップすることができます。

生成AI活用に限らず、これからの時代（学習・仕事）には「質問力」が求められると言われています。受け身の学習態度は必要なし。常に疑問をもって学んでいる超能動的な人が、時代を切り開いていく人材となっていくことでしよう。

お知らせ

◎学校公開「道徳授業地区公開講座」

一月二十五日（土）に行います。全学級で道徳授業を行います。ぜひご参観ください。

◎おおた学校給食大作戦（一月二十四日～二十六日）

一月は学校給食について関心を高める月になります。くわしくは給食献立表をお読みください。

一月の生活目標 礼儀正しくしよう

生活指導部

新しい年を迎え、自分も相手も気持ちよく過ごすためには、正しい言葉遣いやあいさつ、態度など、礼儀正しく行動することが大切です。その、礼儀の基本は「相手の立場に立つ」ことで、中でも「ありがとう」と相手に感謝の気持ちを伝えることは、相手の心を温かくし、円滑な人間関係を築くことができます。そして、「安心感」や「信頼感」をもつことができます。日常の挨拶はもちろんですが、日頃から、顔を見て感謝の気持ちを言葉で伝え合っているでしょうか。デジタルツールの便利さがありますが、ぜひ生活の中で直接、「ありがとう」や「いただきます」「ごちそうさまでした」など、感謝の気持ちを込めて伝えてみてください。

こどもたちの健康について

養護教諭

本校の保健室は、毎日二十人前後の来室がありますが、その中で気になる来室は不定愁訴による体調不良の訴えです。「なんだかだるい」「頭痛がする」「腹痛で教室に行けない」など、身体に明らかな異常がないにもかかわらず、症状を訴える児童が毎日一定数います。話を聞くと、就寝時間が遅く、睡眠時間が短い子や、朝食をしっかりとっていない子、心が不安定でモヤモヤしている子など、不定愁訴には様々な原因があります。まずは、健康的な生活習慣を心がけることが大切です。そして、繊細な心をもつこどもたちには、近くにいる大人が些細なことを気につけて、話を聞いてあげる時間が必要だと感じます。普段の健康的な姿を理解しているからこそ、少しの異変に気付き、早期に対処することが出来ます。学校と家庭で連携しながらこどもたちの心身の健康を守っていきたいと思います。